

「核兵器廃絶市民講座」 被爆地からの報道の未来

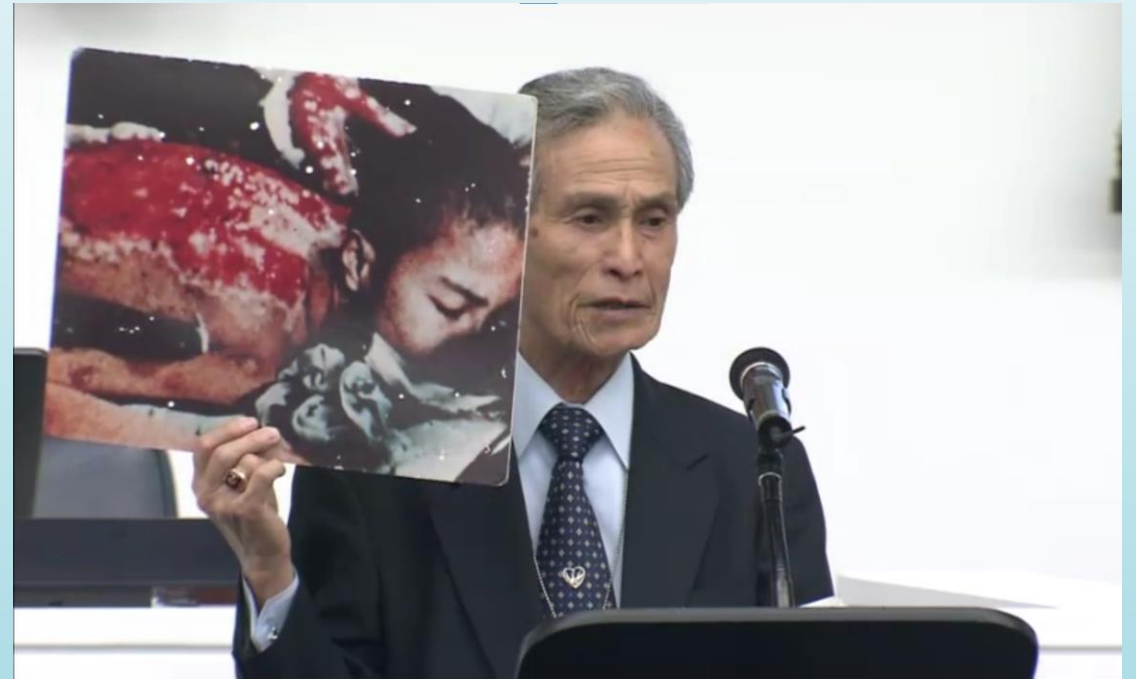
2023・11・11

NIB長崎国際テレビ 報道部 加藤小夜

自己紹介

- 2004年 毎日新聞社入社
 - ・被爆者を初めて取材
- 2009年4月～2016年3月 広島支局
 - ・連載「ヒバクシャ」担当
 - ・2010年のNPT再検討会議を取材
- 2016年4月～2019年3月 長崎支局
 - ・連載「ヒバクシャ」担当
- 2021年3月 毎日新聞社退職
- 2021年4月 NIB入社 報道部
 - ・「原点 繰り返さないために」
 - ・NNNDキュメント「『体験者』じゃない被爆者だ!!」

NPT再検討会議 2010年 米ニューヨーク



- 各被爆者団体、NGO、平和団体などが代表団を派遣
- ニューヨーク中心部のデモ行進にも被爆者が参加

被爆者団体



2011年2月 アメリカ新型核実験抗議



2017年2月 トランプ米大統領への抗議

- 核実験や核兵器を肯定、強化するような動きへの抗議
- 平和をゆるがす事象への懸念

被爆者のいない時代へ

【事象】

- 長崎県被爆者手帳友愛会が解散
被爆者5団体⇒4団体に(去年3月)
- 被爆者団体の合同記者会見が減少
- 相次ぐ被爆者の逝去、引退

【対応と実感】

- 個別に取材
- 取材を断られる機会の増加



被爆地の報道機関として

■ 被爆者の声の記録、発信

- ・シリーズ「原点 繰り返さないために」
- ・被爆地以外の日本国内、世界への発信
- ・アメリカでの証言ツアー

■ 被爆2世・3世、その他

- ・被爆前の日常アーカイブ
- ・「ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト」
- ・高校・大学卒業後の活動